

編集後記

■編集委員 (50 音順)

伊 熊 健 一 郎	岩 崎 昭 憲	小 澤 壯 治	北 島 政 樹
北 野 正 剛	清 水 一 雄	徳 村 弘 実	東 原 英 二

最近、教授選考委員会では医学雑誌のインパクトファクター (impact factor : IF) が取り上げられることが多い。しかし臨床系の選考の場合には IF と診療技術とのバランスが常に問題になる。

小生、外科系教授の選考委員会のときに基礎系の教授に苦言を呈したことがある。「先生は病気になったときに IF で手術してもらいたいのですか、技術で手術を受けたいのですか」と。確か某大学では、IF の高い教授が選任されたが、手術の合併症が多く停年前に退職したという話を 2、3 聞いている。しかしながら IF の高い医学雑誌に掲載されることは医師である以上、誰もが望むことであり、手の届かないところにあるものに人は憧れるものである。

最近、日本学会会議でも IF が話題になり、IF に否定的な意見が示されたが、一方では IF の高い外国の雑誌を追い抜くくらいの雑誌を日本で作る必要があるという意見も述べられた。IF の高い雑誌は、単に値が高いというだけではなく、編集委員会がそれなりの努力をしているのである。

私は欧米の雑誌のいくつかの編集を担当しているが、IF が世界で最高峰 (IF : 51) の雑誌では年に 3 回の編集委員会が開催され、そのうち 2 回の出席が義務付けられている。それなりの IF をもった雑誌でも義務付けはまったくないものが多い。また Editor in Chief は専任職であり、例えば大学医学部の図書館の 4F フロアがすべてその雑誌の事務所になっており、英語の校閲者、図表の専門家、統計学のエキスパートなど多くのスタッフが揃い、さらに読者獲得のために、プロモーション活動の専門家も抱えている。

さて、編集委員会の 1 か月前に事務局より 4 つのトピックが E-mail で送信されてくる。この中から自分が得意とするトピックスに参加する。時差と多種多様の英語に対するヒアリングをとにかく克服するため、参加前には資料集めや、予習が必要である。さらに最近では、全体会議でも Editor in Chief が 1 人ひとりの意見を聞くようになり、緊張の連続である。

このような苦労も多いが、初日の夜はカクテルとディナーがあり、自由な会話と笑顔の中で友情を育んでいく。編集委員会は毎年 2 月と 10 月はボストンで開催され、6 月はパリ、ロンドンなどの他都市で行われ、見聞を広めるよい機会である。ボストンでは留学生家族の全員と昼食を楽しみ、夜は私の恩師ご夫妻と古都のレストランで昔の思い出話や国際学会、研究のトピックなどについてアルコールとともに楽しい会話が弾むのである。将来、本邦においてもこのような質の高い編集作業、あるいは専門職集団を集結し、いつかはボストンの雑誌を凌駕する雑誌を作り上げるのが私の夢の 1 つである。

(北島政樹)

日本内視鏡外科学会雑誌 (第 12 巻 第 4 号) 2007 年 8 月 15 日発行・隔月刊

Journal of Japan Society for Endoscopic Surgery (Tokyo)

1 部定価: 会員には毎号送付されます。その他については、1 部定価 2,835 円 (本体 2,700 円 + 税 5%) となります。

2007 年 年ぎめ予約購読料: 16,500 円 (税込) (配送料: 医学書院負担)

編集・発行: 日本内視鏡外科学会 (代表: 北島政樹)

〒162-0802 東京都新宿区改代町 26-1-B03 有限責任中間法人学会支援機構内

(☎ 03-5206-6007 Fax 03-5206-6008 担当: 佐々木) <http://www.jses.org>

Published by Japan Society for Endoscopic Surgery, 26-1-B03 Kaidaicho Shinjuku-ku, Tokyo, 162-0802, Japan

©2007, Printed in Japan

発 売: 株医学書院 (代表: 金原 優) (本誌担当: 藤田, 中田) <http://www.igaku-shoin.co.jp/>

<http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/jses/>

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23 (振替口座 00170-9-96693 番)

本誌編集室直通 ☎ 03-3817-5707 (Fax 03-3815-7802 E-mail: jses@igaku-shoin.co.jp)

販売部直通 ☎ 03-3817-5659・5660 (Fax 03-3815-7804)

印刷所 横山印刷(株) ☎ 03-3622-6161 (Fax 03-3625-1591)

広告申込所 (株) 文栄社 ☎ 03-3814-8541 (Fax 03-3816-0415)

本誌の内容を無断で複写・複製・転載すると、著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意ください。

エディトリアル	東原英二	杏林大泌尿器科
1. 嚢胞性肺疾患	巨大気腫性嚢胞 (giant bulla)	小泉 潔・他 日医大外科
2. 嚢胞性縦隔腫瘍	気管支性嚢胞・心膜嚢胞・胸腺嚢胞	小田 誠・他 金沢大学心肺・総合外科
	消化管嚢胞 (食道嚢胞)	小澤壯治 藤田保健衛生大外科
3. 嚢胞性腹部疾患	肝嚢胞 (polycystic liver)	上野真一 鹿児島大消化器外科
	脾嚢胞性疾患	柴田浩平 大分大第一外科
4. 嚢胞性婦人科疾患	嚢胞性子宮腺筋症	武内裕之 順天堂大産婦人科
	子宮内膜症性嚢胞：チョコレート嚢胞	森田峰人・他 東邦大産婦人科
5. 嚢胞性腎疾患	多発性嚢胞腎、単純性腎嚢胞	加藤司顯・他 杏林大泌尿器科